

<全体分析>

試験時間	90	分
------	----	---

<p>解答形式 記述(70点)・論述(30点)</p> <p>分量・難易(前年比較) 分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化) 大問4題・小問70問・論述2問</p> <p>出題の特徴 時代別では、「原始・古代」「中世」「近世」「近代・戦後」でほぼ四分割の配点は例年と同じだが、戦後史からの出題はなかった。分野別では、政治から45%程度、社会経済・外交から20%程度、文化から15%程度出題された。</p> <p>その他トピックス 大問IVでは、近世の論述問題が3年連続、近代の論述問題が2年連続で出題された。 大問IV(2)は、2020年度直前講習『京大日本史テスト』第2講IV(2)で類似のテーマを扱った。</p>
--

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述 <史料>	古代・中世・近代 政治・経済	A 壬申の乱と『古事記』の編纂(『古事記』序文) B 守護の職権・承久の乱の戦後処理(『貞永式目』) C 「福沢諭吉君と新島襄君」(『国民之友』第17号) (1)「東」は、(3)および(注)から大海人皇子が壬申の乱で東国豪族を軍事動員したことを想起したい。(4)では「新たな都」が藤原京であると判断したうえ、その特徴について簡潔に指摘したい。(15)「福沢諭吉」は「西洋事情、学問の勧め、文明論の概略」などから判断できる。(18)「西郷隆盛」は「十年内乱」が西南戦争であるとわかれば正解可能。	標準
II	記述 (短文空欄 補充)	原始～近代 総合	①旧石器時代の狩猟 ②完新世の植生と縄文文化 ③弥生時代の集団抗争 ④磐井の乱 ⑤院政期の文学 ⑥竹崎季長と安達泰盛 ⑦惣村の自治 ⑧同朋衆とその文化的影響 ⑨自由民権運動期の演説会 ⑩沖縄戦と「慰霊の日」 チ「集会条例」は、条例の内容への正確な理解が求められた。 テ「慰霊の日」が「6」月23日であることは詳細でやや難。 基本事項からの出題が多いので、高得点が期待される。	標準
III	記述 (前提文)	古代・中世・近世 政治・社会経済 ・文化	A 菅原道真の人物史 B 室町時代の京都 C 江戸時代の畿内農村 (2)の「除目」はやや難。(4)は「1,500人前後」に「八十九郷」を乗じて、「二十万口」より少ないことをヒントに③を選びたい。(11)『真如堂縁起絵巻』は、教科書の図版などに注目した学習が求められ、やや難。	標準
IV	論述	近世・近代 政治・外交	(1)徳川家綱の時代 当該期の諸政策について多角的かつ簡潔に述べることが高得点のカギ。本学でしばしばみられる「どのような時代か」という問いに対しては、全体の論述をふまえて「幕藩体制の安定」という時代の特徴に言及したい。 (2)第一次世界大戦中から太平洋戦争開戦までの日本の中国進出と日米関係への影響 中国における日本の勢力拡大と、それに対するアメリカの対応について、時期区分をしつつ簡潔に論じること。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準に判断しています。

- ① I～Ⅲの記述式 70 点、Ⅳの論述 30 点の配点を念頭に置いた学習計画を立てることが大切である。
- ② 全時代・全分野からまんべんなく出題される。I～Ⅲの記述式で高得点を確保するために、教科書を欄外の脚注なども含めてマスターしたい。
- ③ Ⅳの論述問題は対策の有無によって得点差がつく。早い段階から学習対策を立てて問題演習を行い、できる限り添削指導をうけること。
- ④ 史料問題は基本的に未見史料から出題されるが、市販の史料集などを利用して日頃から史料に慣れ親しんでおきたい。
- ⑤ 京都大学特有のひねりをきかせた設問対策として、夏期・冬期・直前講習および京大入試オープン・河合出版『入試攻略問題集 京都大学 地理・歴史』などの積極的な利用を薦めたい。